

経営理念

私たちは

信頼される金融グループとして

みなさまの期待に応えるサービスを提供し
地域社会の発展に貢献し続けます

変化に果敢に挑戦し
新たな価値を創造します

行動の規範
(プリンシプル)

使命
(ミッション)

あるべき姿・方向性
(ビジョン)

北沢浮遊選鉱場跡：佐渡島西部の相川地区に残る、佐渡金銀山の鉱石を選別・加工していた近代化産業遺産。

目指す姿

金融・情報仲介機能の発揮による

新たな価値の創造と、経営の効率化を進め、

地域の発展に貢献し続けることで

圧倒的に支持される

金融・情報サービスグループ

Contents

マネジメントメッセージ

トップメッセージ	P.03
特集 新たな価値創造に向けた統合へのプロセス	P.09
財務担当役員メッセージ	P.13
社外取締役座談会	P.19

価値創造ストーリー

価値創造ストーリー概要	P.23
財務・非財務ハイライト	P.25
第四北越フィナンシャルグループのあゆみ	P.27
第四北越フィナンシャルグループのマーケット	P.29
第四北越フィナンシャルグループの強み	P.31
マテリアリティ(最重要経営課題)	P.33

目指す姿に向けた成長戦略

第三次中期経営計画の概要	P.35
基本戦略Ⅰ グループ総合力の発揮	P.37
基本戦略Ⅱ 生産性向上の追求	P.43
基本戦略Ⅲ 人的資本価値の向上	P.47
特集 グループ社員座談会	P.55
― 多様な経験から生まれた変化が、 地域にもたらすもの―	
基本戦略Ⅳ リスクマネジメントの深化	P.58
全戦略共通 TSUBASAアライアンスの深化	P.59

サステナビリティ経営

サステナビリティへの取り組み	P.60
----------------	------

経営基盤の強化

コーポレートガバナンス・リスク管理	P.73
-------------------	------

ステークホルダーとのコミュニケーション

ステークホルダーとのコミュニケーション	P.85
---------------------	------

コーポレートデータ

役員一覧	P.87
財務データ	P.91
非財務データ	P.92
グループ企業一覧	P.93

【編集方針】

第四北越フィナンシャルグループは、このたび、全てのステークホルダーの皆さまに当社の持続的な価値創造に向けた取り組みをご理解いただくため、「第四北越フィナンシャルグループ統合報告書2026」を作成しました。編集にあたっては、IFRS財団（IIRC）が提唱する「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス」等を参考にしています。また、詳細な財務データ等につきましては、「ディスクロージャー誌 2026」（当社ホームページ <https://www.dhfg.co.jp/financial/ir/disclo/>）をご覧ください。本報告書には、将来の業績に関する記述が含まれていますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。

【本書の報告対象期間および報告対象範囲】

報告対象期間：2025年4月～2026年3月（2026年8月までの内容も一部含む）
報告対象範囲：第四北越フィナンシャルグループおよびグループ会社



【計数の表示方法について】

2021年1月1日付で、当社の完全子会社である第四銀行および北越銀行は、第四銀行を存続会社、北越銀行を消滅会社として合併を行い、商号を第四北越銀行に変更しています。

本資料における第四北越銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しています。

- 2021年3月期：2020年4月～12月の第四銀行および北越銀行の計数と、2021年1月以降の第四北越銀行の計数を単純合算
- 2019年3月期、2020年3月期：第四銀行および北越銀行の計数を単純合算

※ 本資料に掲載してある諸計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

※ 本資料では、「第四北越フィナンシャルグループ」を「第四北越FG」「FG」または「当社」「当社グループ」と表記する場合があります。

※ 本資料に掲載している「QRコード」は、株式会社デンソーウェアの登録商標です。

お問い合わせ先 株式会社 第四北越フィナンシャルグループ 経営企画部 TEL 025-224-7111（代表）